

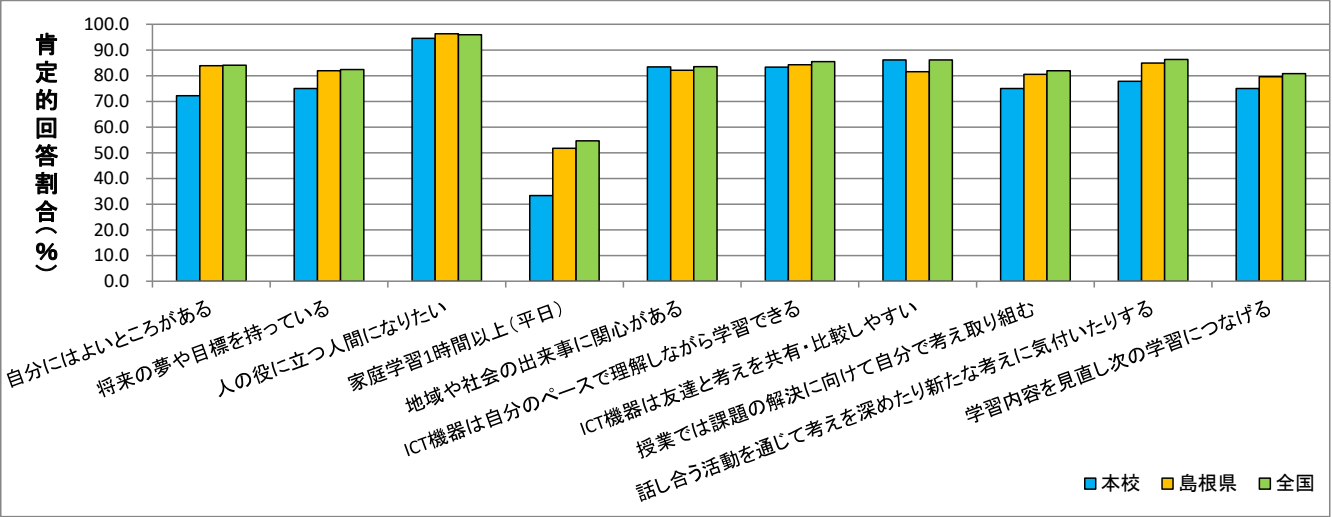
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○漢字の読み書き。 ●資料を活用して説明すること。 ●登場人物の心情を理解すること。	・子どもによって物語の感じ方は異なるが、情景や叙述をもとに考えさせ答えを導く活動に重点をおく。 ・言葉の意味を文脈から想像し、正しく理解するようにする。 ・図書館を効果的に活用する。 ・低学年では、生活科などで思考ツールを使い、言語化させる。また言葉の意味理解を深めるために、動作化し言葉をおさえる。 ・校外学習等でメモをとる際には、メモの取り方やメモを取るよさ、意味について確認する。
算数	○基礎的・基本的な計算。 ○一問一答形式の問題。 ●自分の考えを文字や図、言葉を使って説明すること ●たくさんの情報(数値)から問題を解決するための情報(数値)を選ぶこと	・自分の考えを表現する場を設定する。(クラスの代表だけが説明するのではなく、一人ひとりが自分の考えを説明する場を設定する) ・子どもたちが授業の中で何ができるようにになればよいのか(授業のねらい)を明確にする。 ・さまざまな情報から問題を解決するための情報を選ぶ力をつける(例:平行四辺形の面積を求める問題で、底辺や高さ以外の長さが記載されている問題) ・算数用語を正しく使えるようにする。

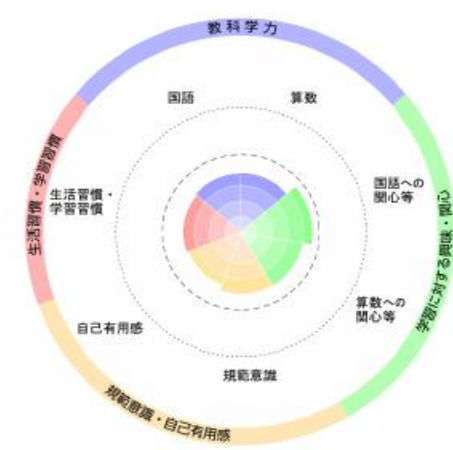
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○ICT機器を学習で効果的に活用することができる。 ●自己肯定感が低い。 ●家庭学習の時間が少ない。	・家庭学習充実のため、毎日提出する課題と1か月ごとに提出する課題をだし、自分自身で計画的に学習できるように促す。 ・目標に向けて努力する場を説明する。事前に単元テストの範囲と実施日を子どもたちに伝え、計画的に学習できるように促す。 ・一人ひとりの変化を見逃さず、成長したことや心の変化などを認めていく。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・日々の授業改善(見方・考え方を意識した授業)
- ・算数の学習では、実際に手を動かしながら体験的に学習に取り組めるようにする。
- ・算数で、学習したことが定着できるように5・6年生を対象に他学年の教員も活用して少人数での演習の時間を設定する。

【受検者数】
37 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。